

# 最新の医学・医療カンファランス

開催日時：令和8年8月13日(木) 14時～16時

開催場所：和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス 図書館棟3階 研修室

## 「最近の皮膚科の進歩」

本講演では、皮膚科でこの5～10年で相次いで登場した新しい治療薬を紹介します。帯状疱疹や単純ヘルペスに対しては新しい飲み薬や15分で結果が出る検査、さらには帯状疱疹ワクチンが使用できるようになり、早期治療と予防がしやすくなりました。ニキビや水虫、花粉症など身近な病気にも、使いやすい塗り薬や飲み薬が登場しています。アトピー性皮膚炎や乾癬、じんましん、円形脱毛症、多汗症などといった従来は治りにくかった病気にも、生物学的製剤やJAK阻害薬など、原因物質や免疫をピンポイントで調節する薬が使えるようになり、重い症状に対しても効果が得られるケースが増えています。さらに、皮膚がんに対する免疫チェックポイント阻害薬やキナーゼ阻害薬も登場しました。以上の治療は和歌山医大でも受けることができますので、お困りの方はぜひ一度受診してください。

じんにん まさとし

本学 医学部 皮膚科学講座 神人 正寿 教授

## 「白血病治療の進歩」

本来「赤」色であるはずの血液に「白」がついている「白血病」は印象的な名前です。白血病患者さんの血液が白いわけではないのですが、その昔、脾臓というところがとても大きくなった患者さんの血液を顕微鏡でみてみると「白血球」が非常に多くなっていることが分かって白血病という名前がついたわけです。その後、この病気の理解が深まって、骨髄系細胞の「ガン」を白血病というようになりました。そして、現在の白血病の治療成績は非常によくなりました。慢性骨髄性白血病という病気は、発病メカニズムの研究から約60年を経て、内服薬を用いた外来治療が可能となっています。また、20年前には和歌山であまり普及していなかった「骨髄移植」も和歌山県立医科大学血液内科で十分に行えるようになりました。この講演では、皆様に和歌山県立医科大学附属病院血液内科における白血病治療の実態をお話したいと思っております。

そのき たかし

本学 医学部 血液内科学講座 園木 孝志 教授

申込み方法 令和8年6月25日(木)までに以下のいずれかの方法でお申し込みください。先着30名。

■ 電話 073-441-0789 ■ FAX 073-441-0713

■ メール ① 以下のURLのページ下部にある申し込み用紙のデータをダウンロードして必要事項を入力してください。

<https://www.wakayama-med.ac.jp/shisetsu/life/index.html>

② 必要事項を入力した申し込み用紙のデータを添付して、以下のメールアドレス宛てに送付してください。  
life@wakayama-med.ac.jp

本講座は、一般の方に最新の医学・医療情報等を提供し、教養を深め、健康や治療に役立てていただくことを大きな目的として開催しています。医学・医療に関する専門的知識は必要ないので、興味のある方は、ご覧ください！

